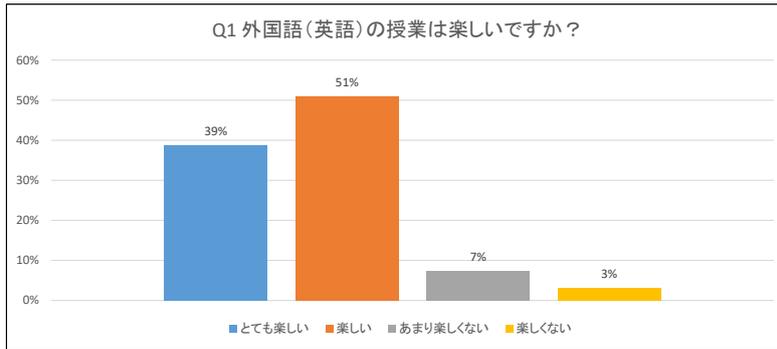


令和5年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(河江小)

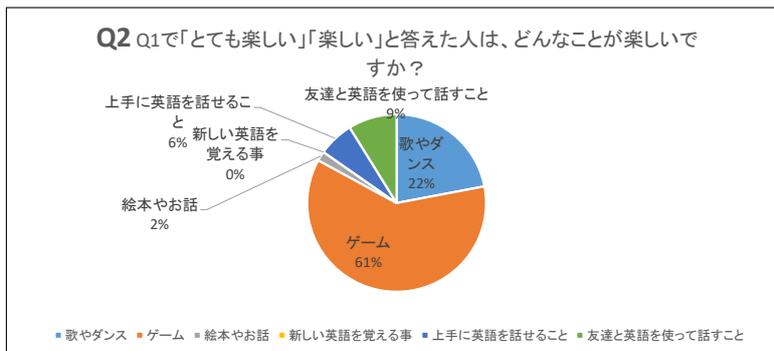


【Q1について】

外国語(英語)の授業は、「とても楽しい」「楽しい」と答えている児童が90%おり、積極的に授業に参加できている児童が多いと考えられる。

一方で、「あまり楽しくない」「楽しくない」と答えた児童が10%いる。児童の困り感を把握し、全ての児童が外国語(英語)の授業を「楽しい」と感じられるように、学習内容を工夫していきたい。

また、学年が上がるにつれて学習内容が難しくなり、「分からない」と感じている場合も考えられる。児童のつまづきを捉え、反復練習を行ったり、既存内容を活用したりしながら、「分かった」「できた」と感じられる授業を実践していきたい。

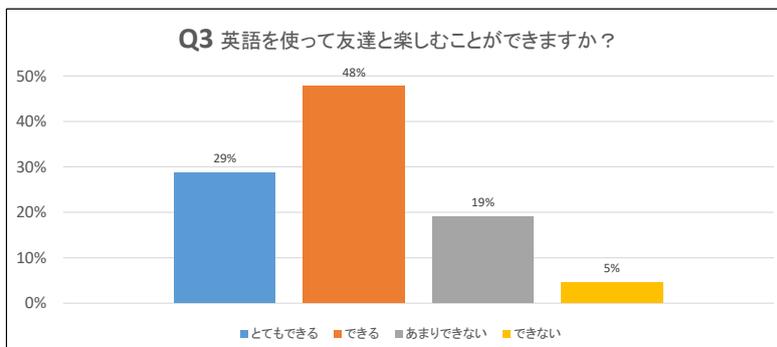


【Q2について】

「とても楽しい」「楽しい」と答えた中で、一番多かったのは「ゲーム」である。61%の児童が外国語(英語)の「ゲーム」に楽しさを感じており、学習意欲の保持や向上に効果的であると考えられる。

次に多いのが、「歌やダンス」で、22%の児童が一番楽しい活動と感じている。歌やダンスなどのリズムに合わせて繰り返し英語を使うことで、楽しみながら身に付けることができていると考えられる。

また、「友だちと英語を使って話すこと」や「上手に英語を話せること」「絵本やお話」が一番楽しいと感じている児童も17%いる。児童のニーズを把握し、楽しみながら英語を身に付けられるよう、今後も様々な活動を取り入れていきたい。

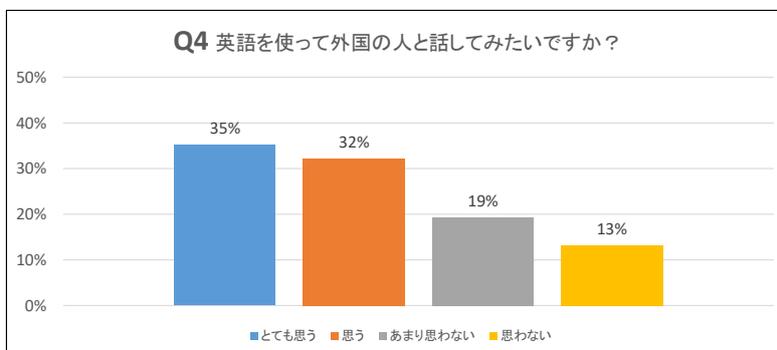


【Q3について】

77%の児童が、英語を使って友達と楽しむことができる、「とてもできる」「できる」と感じており、多くの児童が楽しめていることが分かる。

一方で、24%の児童が「あまりできない」「できない」と感じている。学年が上がり、学習内容が難しくなるにつれて、「できない」と感じる傾向がある。

歌やチャッツ、ゲームなど様々な活動を通して、英語の表現に慣れ親しむことができるようにする。また、英語を使って友達と交流する活動を繰り返し行うことで、英語を使う楽しさや友達と交流する面白さを感じることができるようになる。児童の頑張りを積極的に褒め、自信をもって交流することができるようにしたい。



【Q4について】

英語を使って外国の人と話してみたいという項目において、「とても思う」「思う」と答えた児童は67%である。

一方で、32%の児童が「あまり思わない」「思わない」と考えている。

否定的な意見の背景には、外国の人と交流する機会がなく、イメージを持ちにくかったり、交流することに不安を持っていたりすることが考えられる。

授業を通して、外国の文化に触れ、外国への理解を深めたり、興味関心を高めたりしていきたい。また、児童が外国の人と話してみたいと思うような学習活動を設定していきたい。

【保護者・学校関係者からの意見・要望等】

- ・英語を楽しく学習してほしい。
- ・英語を好きになってほしい。
- ・英語を覚えて、使えるようになってほしい。
- ・外国に興味を持ってほしい。
- ・いろいろな人と、英語を使って、コミュニケーションを図ることができるようになってほしい。

【考察・今後の展望等】

全体的に、外国語(英語)の授業に対して肯定的に捉えている児童が多い。今後も多くの児童が、授業が楽しい、英語を話すのが楽しいと思えるように、学習内容を工夫していきたい。また、外国語(英語)の授業に対して、否定的に捉えている児童が、肯定的に捉えることができるよう、児童のつまづきやニーズを把握し、個別の指導を行うとともに、多様な活動を通して英語に慣れ親しむことができるようにする。全ての児童が英語を使ったコミュニケーションの楽しさを感じることができるよう、授業改善を図っていきたい。